

e-learning 推進機構支援

－PMSR と Moodle システム間データ連携ツール開発支援－

谷口勝紀^{A)}、吉岡昌雄^{A)}、青木敏裕^{A)}、山口倫^{A)}

^{A)}電気情報技術系

1 はじめに

本支援は電気情報技術系・情報 WG のメンバー4名で担当しており、学内で取り扱っている放射線取扱者個人管理システム(PMSR)と e-learning システムとの連携について、検討と開発をおこなっている。

2 支援内容

放射線取扱者個人管理システム(PMSR)と e-learning システムの連携について、人的作業の削減にむけた検討を行っている。学内の放射線取扱施設を利用する為には、必ず PMSR への登録が必要となる。PMSR では施設利用者の健康診断情報や利用状況など様々な情報を一元管理している。

放射線取扱従事者には、法令で放射線取扱者教育訓練や、問診の実施が義務づけられている。教育訓練や問診の提出は e-learning システム上で実施しているが、利用する施設や被ばく量等の条件で、受講対象者や問診の提出対象者を手作業で PMSR から抽出し、e-learning システムへ受け渡している。また、e-learning システムの受講記録等の結果についても PMSR へは手作業で移行している。

これらの作業が、年に数回発生する事になり、担当者の負荷は大きいものとなる。そこで、PMSR と e-learning システム間のデータ受け渡しを自動連携化する為の調査・作成を行っている。

3 まとめ

PMSR と e-learning システムの連携ツールの開発は、一昨年度末から行っている業務であり、動作システムの調査や、取扱いデータの調査資料の洗い出し等を行い、既に問診登録情報生成ツールの開発を行ったが、教育訓練が必要なユーザ情報を自動生成するツールについては未開発であり、引き続き調査を行い、導入に向けて活動に取り組んでいきたい。

参考 URL : <http://www.kumamoto-u.ac.jp/>